

- 1 主題名 わがままをしないで  
教材名 「かぼちゃのつる」(A—(3) 節度, 節制)  
出典「教育出版 しょうがくどうとく①」

## 2 題材観

本主題における学習指導要領の内容項目は、「健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする事」である。自分の生活を見直し、自分の置かれた状況を思慮深く考えながら自らを節制し、自分の現状を内省することは、自分や周りの人の快適な生活を守ることになることを様々な場面でアプローチしていくことによって、わがままをしないで生活しようとする心情を育てることにつながる。この内容項目に関して、低学年では、児童の日常生活における行動を通して、周囲に対する気配りや思いやりをもつとともに、基本的な生活習慣を身につけ、節度のある生活ができる児童を育てることが主なねらいである。

本教材は、自分勝手にわがままなかぼちゃが、ハチやチョウ、スイカや犬の忠告を聞かずに道路まで、自由奔放につるを伸ばしていき、最後には、車につるを切られて涙をこぼすという話である。これを受けて、本教材では、主人公のかぼちゃの心情を共感的に扱いながら、児童一人一人に自我関与をさせたい。そして、かぼちゃのようなわがままな行動のもとにある気持ちは、誰にもあることに気付かせ、自分をふり返り、今後の生活への意欲化を図りたい。

本主題は、わがままを通して周囲に迷惑をかけ、最後には自分が嫌な思いをするかぼちゃの気持ちを考えていくことで、わがままをしないで生活することの大切さに気付き、その心情を育てることができると考える。また、植物の成長を止めてしまうような委縮した結論ではなく、自他が共に幸せになるための解決策を考え、かぼちゃが周りの人たちの忠告を聞いて自分の畑でのびのびとつるを伸ばすことの大切さを多面的・多角的に考えることができるようにしたい。

## 3 育てたい児童の姿

- わがままな行動は、人に迷惑をかけるだけでなく、時には自分にも被害が及ぶことに気付き、どうすれば思慮深く、節度をもって行動できるかを考える。  
(物事を多面的・多角的に考える)
- 自分だけでなく、周囲の人も快適な気持ちにしようとする意識を高める。  
(自分自身のこととして考える)

## 4 計画(1時間)

- わがままな行動について、日常生活をふり返る。【事前アンケート】
- 教材文「かぼちゃのつる」から、わがままをしないで、節度ある生活をしようとする価値について考える。

## 5 本主題における小中一貫の視点

### (1) キャリア教育の視点（人間関係形成・社会形成能力）

動作化やICTを活用した話し合い活動を通して道徳的価値についての共感的理解を深め、自分自身の問題として考え、自分の気持ちを人に伝えることができる。

### (2) 9年間を通じた系統性について

本主題は、第2学年の「わたしだけのかぼん」を活用して、物を大切に生活しようとする態度の形成へとつながっていく。また、9年間を見通した際、中学校第7学年の望ましい生活習慣を身につけようとする実践意欲と態度を育てる「古びた目覚まし時計」へとつながっていく。

## 6 本時

### (1) ねらい

かぼちゃの言動について話し合う活動を通して、人の注意を聞き、わがままをしないで生活をしようとする心情を育てる。

### (2) 展開

段階	学習活動・内容	○指導上の留意点◇評価規準(方法)	配時
課題設定	1 「わがまま」についてアンケートを実施し、今の自分をふり返る。 ・「買って、買って。」と言う。 ・ゲームの時間を守らない。	○Google フォームに提出した「わがままに関するアンケート」について話し合い、価値への導入を図る。 ○「わがまま」についての今の価値観を出させることで、ねらいとする価値への方向付けを図る。	5
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     めあて わがままなところについて、かんがえよう。                 </div>			
学び合い	2 教材文「かぼちゃのつる」を読み、かぼちゃの気持ちについて話し合う。 (1) つるをぐんぐん伸ばすかぼちゃの気持ちを想像し、話し合う。 (2) 様々な生き物から注意された時のかぼちゃの気持ちを考える。	○電子黒板を使って、視覚に訴えどの子にも分かりやすい資料提示になるようにする。 ○ぐんぐんつるをのぼしていくかぼちゃの気持ちを動作化によって共感させ、かぼちゃの身勝手さに気付かせる。 ○みんなの注意や忠告を受け入れずに、わがままを言っているかぼちゃの気持ちを考えさせる。 ○今のかぼちゃの気持ちを、ハートメーターを使って、ロイロノートに提出させる。	25
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: left;"> <p><b>【ごめんね。という気持ち】</b> (桃色)</p> <p>・みんなが注意してくれたのに、ごめんね。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>75</p> <p>(5種類のハートメーター)</p> </div> <div style="text-align: right;"> <p><b>【悪くないよ。という気持ち】</b> (水色)</p> <p>・つるをのぼすのは、気持ちがいいんだもん。</p> </div> </div>			

	(3) 泣いているかぼちやの気持ちを考える。	<p>○提出された友達の考えをタブレットの画面上で視聴することで、友達の考えを知ることができるようにする。</p> <p>○十分かぼちやの気持ちを考えることができるように、受容的態度で子どもの考えを受け止め、支援する。</p> <p>○自分のわがままな行動を反省しているかぼちやの心情を共感的に捉えさせる。</p>	10
	車にひかれて涙をこぼしたかぼちや、どんなことを考えたでしょう。		
まとめ	<p>3 かぼちやのわがままな行動から、自分の生活をふり返り、かぼちやへ手紙を書く。</p> <p>・ぼくだって、こんなことがあったよ。</p> <p>・かぼちやさん、みんなの注意をきいておけばよかったね。</p> <p>4 保護者からの手紙を読み、実践への意欲をもつ。</p>	<p>○これまでの自分の経験を通して、かぼちやへのアドバイスができるような手紙にさせる。</p> <p>○かぼちやへの手紙が書けた子には、「ありがとうシール」を貼って、一人一人を支援する。</p> <p>◇わがまみをせず、人の注意を聞きながら生活していこうとする気持ちが高まっている。 (ワークシート・つぶやき・発表)</p> <p>○おうちの方からの手紙を読むことによって、わがままな行動を減らしていこうとする道徳的実践につなげる。</p> <p>○保護者からの手紙をもらった気持ちを大切に、温めた価値をふり返りながら、余韻をもって学習を終わる。</p>	10        5